

研究員研究

「研究員研究」は、次のような趣旨で行います。

研究意欲に溢れる教員が集い、今日的な研究課題について、課題解明のための調査研究を行う。

将来にわたって、よき指導者となるため、研究員として研究活動を推進し、資質向上に努める。

研究を冊子にまとめ、小・中学校に配付したり、ホームページ上で公開したりして、研究の成果を広める。

今年度のテーマ

校内研修の充実に関する研究 I



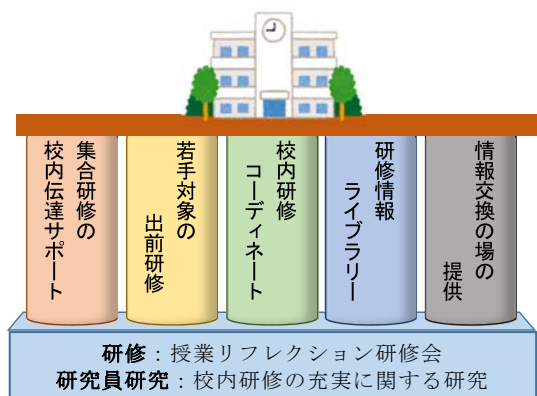
講師：富山大学 人間発達科学部 実践総合センター
客員教授 安井 俊夫 先生

今年度の研究は・・・

今年度は「校内研修の充実に関する研究」初年度です。研究員の教務主任、研究主任が各勤務校での実践を通して、効果的な校内研修の企画、運営について研究します。年度末には、研究集録等で研究の成果を報告いたします。

5月8日 第1回目の研修から

校内研修サポート事業について



今年度、「校内研修サポート事業」を新規に実施することとしました。具体的には、左の図の5つの柱で表された事業を中心に、研究員研究や授業リフレクション研修会も関連づけながら、各校における校内研修を支えていきたいと考えています。

ここでは、特に「校内研修コーディネート」「若手対象の出前研修」について紹介します。これらの事業は、教育センター指導主事が、小・中学校の要望に応じて各校に出向き、校内研修を支援するものです。支援内容としては、

- (1) 道しるべ、授業のイロハを活用した若手研修の実施
- (2) 校内の若手研修の支援（運営助言、資料等の準備）
- (3) 校内研修の支援（運営助言）
- (4) その他

等を予定しています（詳しくは、教職員研修等実施要項（青表紙）64ページに記載）。今年度は、道しるべ、授業のイロハを活用した若手研修として、「学級経営7つの視点」「学級担任の1日」「教材研究」「グループ学習・ペア学習」「学習課題の提示、発問」「板書の在り方」「ノート指導」「まとめと振り返り」「家庭との連携」「効率のよい仕事術」「コミュニケーション力」の演習型の研修メニューを準備しました。所要時間は、50分間を基準としますが、ご要望に合わせます。校内研修の活性化にご活用ください。お申し込みにつきましては、センター研修係までお電話いただき、ご相談ください。